

## 棚田から 巨大な物体 が出現!!

瀬戸内国際芸術祭2010

Setouchi International Art Festival 2010 in 小豆島



作品『小豆島の家』



7月19日に、瀬戸内海の7つの島「小豆島、直島、豊島、女木島、男木島、大島、犬島」と高松港周辺を舞台として、現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2010」が開幕しました。芸術祭は10月31日まで開催され、小豆島では肥土山・中山地区の農村地域を中心に海外のアーティストの作品が展示されています。

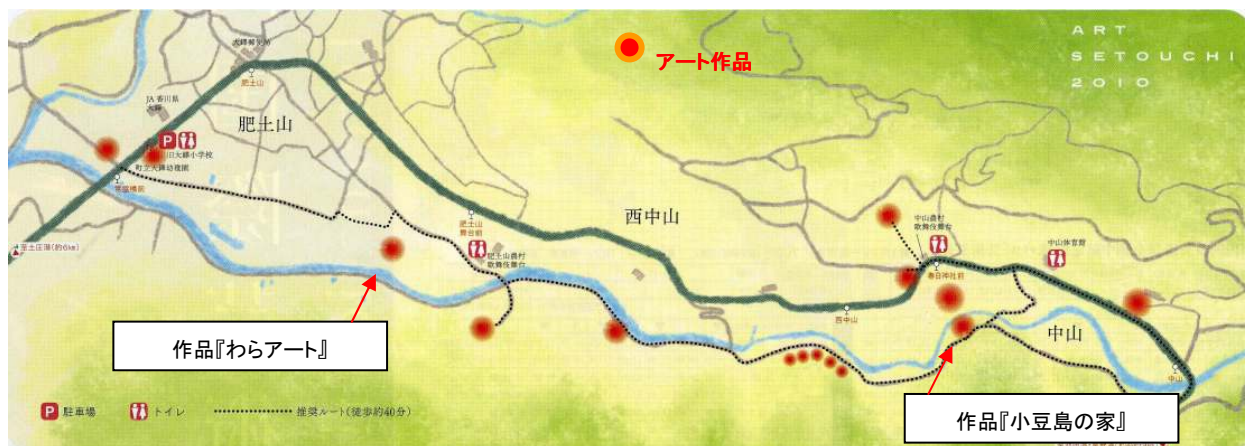
肥土山、中山地区は小豆島のほぼ中央部に位置し、周辺を棚田で囲まれた農村地帯で、農村歌舞伎や虫送りなど農村部ならではの伝統行事が、今も受け継がれている里山の魅力満載な集落です。

そんな農村の風土と景觀に、現代アートが融合し、更なる農村の魅力が引き出されています。中でも目を引くのが、中山の農村歌舞伎の舞台直下にそびえ立つ、王文志(ワンヴェンチ)さんの作品『小豆島の家』です、作品の高さは約15mあり、材料となった竹は、「地域の活性化になれば」と集落の人達が切り出したもので、巨大なドーム状デザインは、脱穀された米の形を象徴しており、まさしく集落の人達や棚田の風景との融合です。

このほかにも、武蔵野美術大学からアートチームが、収穫した後の稲わらを素材として立体作品の制作に取り組んでおり(9月25日以降鑑賞可)、現代アートが農村の魅力を引き出しています。

みなさんも、農村の優れた伝統文化を改めて見つめなおす機会として、是非小豆島へ足をお運び下さい。

(香川県小豆総合事務所土地改良課)



リンク：瀬戸内国際芸術祭 2010 [http://setouchi-artfest.jp]

2010.8 水土里情報